

ホクレンの営農情報誌



ap

hokuren
agriport

アグリポート

12-1月号

DEC.-JAN.
2017-18
VOL.10

ホクレンマーケット通信

道内の小麦生産と需要動向

パートを集める、一緒に働く

パートさんと共に

読者モニター

**アグリポーター
大募集**

詳しくは34Pをご覧ください

うちの畑は映画『しあわせのパ
ン』の舞台になった洞爺湖の月浦
という地域にあり、湖が一望でき
る景色のいいところです。今はア
スパやスイートコーンなどの野
菜、大福豆や大納言などの豆類、
サクランボなどの果樹をつくって
いますが、主人と結婚して間も
ない昭和52年、有珠山の噴火で
収穫前の作物が一晚のうちに灰の
下になったことがあります。雨
も降ったので、灰の重みで木がボ
キンボキンと折れる音が聞こえる
んです。朝起きたら一面が灰色。
もちろん、その年の収穫はひとつ
もありませんでした。

その後、夫の両親と一緒に水田
を除灰、畑はブルドーザーで攪
拌して作付けを再開しましたが、
土を起こすたびに灰が筋になって
出てくる。傾斜地なので雨が降
ると灰が流れて溝ができる。農
業はもう続けられないんじゃない
かと思うほどでしたが、私たちに
限らず、そうした苦難を幾度と
なく乗り越えてきたのが農家な
のだと思います。

女性部も同じです。私が入っ
たときはまだ「婦人部」という
名称でしたが、先輩方は農作業
のほかに家事や子育てをこなし、
家族に気を使いながら組織づくり

あの人 VIEW POINT

次の世代へつなげる ことが、私たちの使命。

JA 北海道女性協議会 会長 青山 伸子



contents

03 特集

パートを集める、一緒に働く

パートさんと共に

03 働く時間とつながる環境

07 農業パートが考える「働きやすさ」

09 働く人の立場に立った環境づくり

11 すぐに辞めない!パート雇用ノウハウ

13 ホクレンマーケット通信

- 北海道産小麦の需要がパン・中華めん用にも広がっています。

15 みんなの取り組み広場

- 農福連携事例（JA 北ひびき）
- 農福連携事例（JA びばい）

17 品種・技術 ここがポイント!

- 大きくてよくとれる!いちご「ゆきララ」
- テンサイ西部萎黄病（=テンサイ黄化病）の感染源について
- 堆肥の効果を発揮するために～土づくりを、かけ声から具体的な技術へ②

23 情報 clip

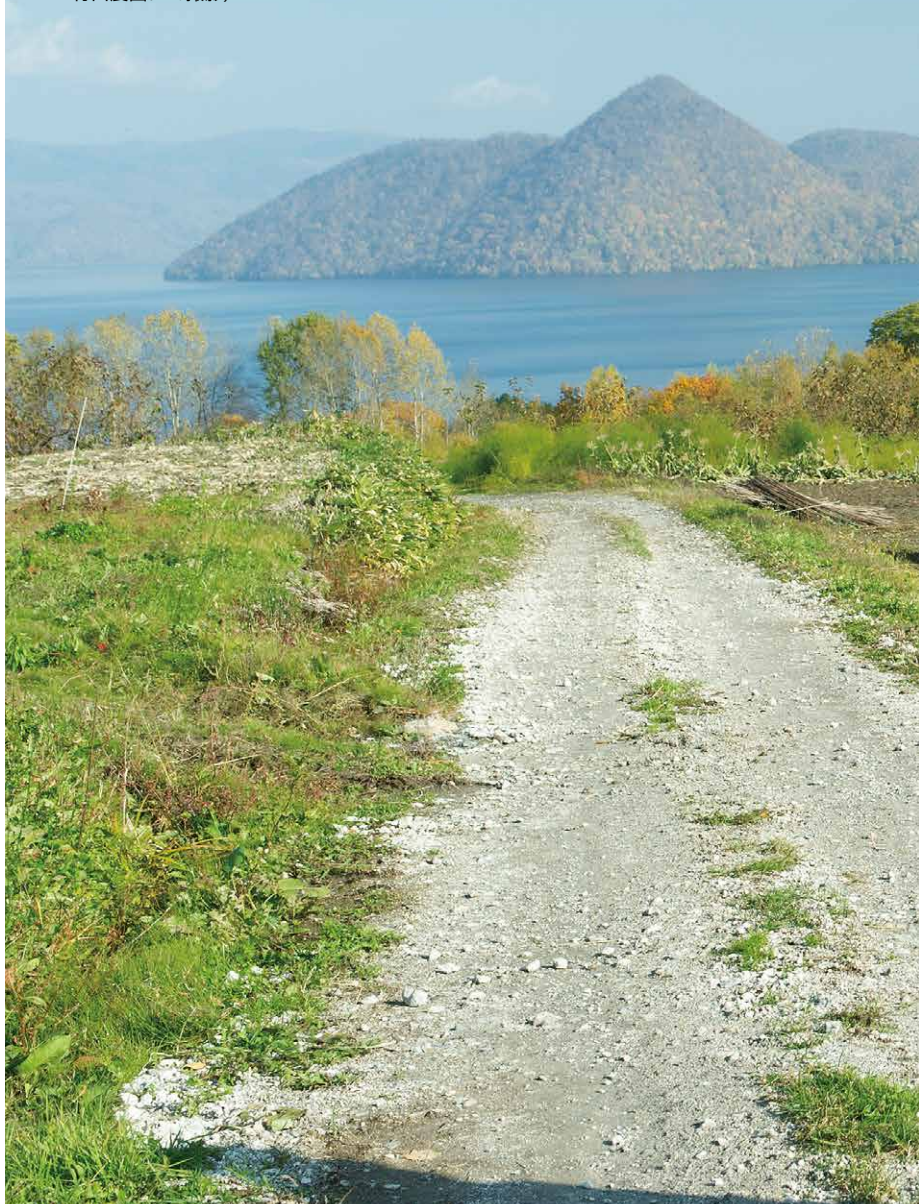
- 農産物の安全を確保する GAP（農業生産工程管理）活動推進とこれからの取り組み
- JAピンネ 水稲防除 豆つづり普及への取り組み
- ホクレン訓子府実証農場レポート①リモートセンシングによる生産性向上への挑戦
- 首都圏の消費者に「網走市」の魅力を PR!（JA 東京アグリパーク）
- JA共済 労働災害保障制度

33 読者の皆さんからの声

に奔走したはずで、家族に話せないことを打ち明けたり、励まし合う仲間が必要だったからでしょう。だから、途切れさせてしまったら申し訳ない。フレッシュミズの会員を増やし、ミドル、エルダーと続けてもらえるようにしたいのです。

私が結婚した当時、農家の息子にも嫁にも給料はありませんでした。最近では家族であっても労働の対価を得るのが当たり前になってきました。こうした変化も仲間を集め、みんなで声をあげて勝ち取ってきた成果。働きやすい環境と仲間で支え合う喜びを、次の世代へつなげるのが私たちの役目だと考えています。

Profile：1956（昭和 31）年、苫小牧市生まれ。看護師として働いていたが、洞爺湖町月浦で農業を営む晴重さんと結婚して農業に携わるようになる。長男・長女はすでに独立、現在は次男の和弘さんが就農し、平日は家族 3 人、週末はお嫁さんも加わって、野菜から豆類、果樹まで多品目の栽培を行っている。JA とうや湖女性部部長、日胆地区女性部会長、JA 北海道女性協議会副会長を経て、今年 4 月より現職。（洞爺湖町の青山農園にて撮影）





パートを集める、一緒に働く

パートさん と共に

高齢化社会を迎え労働者確保が難しくなっている中、せっかく集まったパートさんがすぐに辞める、続かない……。それでは常に労働力確保に悩まされ続けることになってしまいます。人が集まる環境は何が違うのか、パートさんが働きやすい環境とは何かを働く側と雇用する側から考えます。

ホクレン・JA合同

01「農業パート募集イベント」から

働く時間とつながる環境

7月27日にホクレンと石狩管内3JA（道央・いしかり・北いしかり）が合同で実施した「パート募集イベント」は114名の方が参加し、盛況の内に終了しました。ここから41名の方がパートに登録。次につながっています。都市部にいる「農業に関心がある」人たちはどう感じていたのか、イベントの様様とその後をレポートします。

広く募集する

40～60代を中心に多くの来場者が参加した、今回の「農業パート募集イベント」。北海道新聞への折り込みチラシや北海道アルバイト情報社の媒体などを使い、多くの人に農業の仕事のアピール。イベントでは、パートの方が実際に働いている様子や、生産者からのメッセージの上映、働く上での疑問点を各JA担当者が答えるなど、農業の仕事に興味がある人についていかに伝える内容でした。

キッカケが大事

イベントで説明したJA道央の後藤さんは話します。「今回のイベントでは勤務時間について関心が高かったと思います。『午前中だけ』という方も多かったので、そこは生産者の皆さま



イベントと各JAの説明会は札幌市内の同じ建物内で開催。イベント終了後は希望するJAの説明会に参加。



各JAの説明会ではより具体的な内容の説明を実施。希望者はパートの登録も行いました。



JA道央 江別営農センター
営農振興課
後藤 真由美さん



イベントでは農業パートさんの仕事の様子、パートさんからのメッセージ、生産者からのメッセージを映像で上映。どんな仕事をしているのか、どんな人と一緒に働くのかということを具体的に訴えることができ、参加者に好評でした。



定着して働ける環境

んに『少しの時間でも来てくれれば、来年につながりますよ』とお伝えしています。素人さんが農作業をすることは本当に大変。でも、2年目になると皆さん欲が出て来て時間を増やしてくれます。だからこそ最初のキッカケが大事だと思います」

後藤さんはまた、次のように話します。「当然、生産者の対応や相性によって定着率の良し悪しはありますので、私たちが生産者とパートさんをマッチングさせることは重要です。毎年、双方にアンケートを取り、うまくマッチングできるよう少しずつ改善しています。今では生産者の皆さんが相当気を配っているようで、アンケートでは『農家の方に気を遣っていたら、素人の私でも楽しく作業できた』というのが多いです。そういった生産者のところは人が辞めないし、集まっていますよ」

イベント参加者からは、「具体的な作業がイメージできた」「作業の服装がわかった」「自分たちで収穫した野菜が、消費者に届くのが魅力的と思うた」など好評でした。一方で、「車を持つてないので通えない」などの声もあり、課題も残りましたが、都市部の人たちが、やってみようか、と興味を持って参加する、そんな思いがたくさん垣間見えるイベントとなりました。

今回のパート募集イベントで応募
された方が考える農業の仕事



北海道新聞の折り込みチラシ



「朝が早いので夫の仕事との兼ね合いがあったのですが、今では協力してくれるようになりました」という日川さん。

これまで農業の仕事には全く関わったことがなかった日川さん。「先輩の仕事をよく見るのが一番大切だと思います」

農業パート1年生●日川 志津子さん 失敗が心苦しいですが働きやすいです

家の中で閉じこもるのではなく、「動かなくちゃ」という思いがあったのと「自然の中で働きたい」と考えていた時に道新のチラシを見て応募しました。農業の仕事をする前は、車に乗っている時など、広大な畑を見て「綺麗なな、のどかなな」と思っていました。実際にやってみると、大変というよりは「二つが農家さんの生活の糧になるんだなあ」「下手な採り方はできないなあ」と感じ、責任がある仕事だと思っています。

朝早いのは構わないですし、一緒に働いている人は皆さん優しく、いろいろ教えてくれます。仕事はすごく好きなんです。初めての仕事というのは、ついていくのがやっと。早く慣れてテキパキと仕事をこなしたいです。今はまだ小さいものを収穫してしまうことや見落としなど、失敗してしまうのが心苦しいです。始めてから1カ月半ほどになりますが「来年もやりたい」という気持ちと「早く覚えたい」と迷惑かけるな」というのが半々です。農家の方は失敗も許してください。農家の方は失敗も許して下さるのでうるうるしてしまいますが、とても働きやすい環境だと思います。

一週間に二度の休みですが、午前が終わるので苦ではないです。午後はゆっくりできるので疲れを残すこともありません。夫や娘は心配していますが、毎日見送ってくれるなど、いつも応援してもらっています。

ずっとIT系の仕事に就いていたので、やるのであれば違う仕事をしてみたいと思い今回のイベントに応募しました。退職した先輩からも「野菜収穫の仕事をしている」と聞いていたこともあり、イベントの前から頭の片隅に「農業の仕事」も「いいかな」と考えていましたね。

どんな仕事も実際に現場に行くと違いますから、事前に農協の方から説明は受けましたが仕事を始める2日前からドキドキしていました。実際の現場では、教えてもらった通りにやれば段取り等もすぐわかりました。始めてみると細かい作業が延々と続くわけではなく、仕事はそれほど重労働ではありませんよ。ハウスの中は暑いことありますが、それ以外は苦になることもなく、「やって良かったな」と思います。身体を動かす仕事ということも含め、退職後の仕事としては適しているのではないのでしょうか。また、農家さんが育てられたものを成果物として収穫して出荷するという、仕事が目に見えることもやりがいになります。農家さんの役に立ち、市場に出せるというのが良いですね。

農業の仕事を始めて家族はとても喜んでくれました。子どもたちも仕事の内容に興味深く聞いてくれてコミュニケーションに役立っています。

農業パート1年生●長尾 常夫さん 退職後の仕事として適していました

規格外のものを採ってしまっても後できちんと的確に教えてくれることが仕事を進める上で役立っています。

「しゃがんだり伸びたりするのがストレッチになるし、体調も良くなりました」という長尾さん。



02 農業パート匿名座談会「快適に働きたい」

農業パートが考える「働きやすさ」

とある農業生産法人にパート従業員として勤める同年代の5人。ほぼ農作業未経験だった彼女たちにとって、農業の現場は働きやすい環境なのでしょうか。良いところ、改善したほうがいいところなど、感じていることを率直に語ってもらいました。

座談会メンバー

Aさん パート歴3年 Bさん パート歴4カ月 Cさん パート歴1年半

Dさん パート歴3年 Eさん パート歴3年

座談会のメンバーはトマトパートとして、主にミニトマトの苗植え、育成、わき芽取りなどの管理、収穫まで担当。そのほか、他の野菜の時期によってさまざまな作業をこなす。

編集部 全員30代でお子さんがいらっしゃるのとこのことですが、働きやすいと思うのはどんなところですか？

Aさん 急に休まなくてはいけないこともなくても考慮してもらえるとかな。仕事を探すときは子どものことを一番に考えたので、休みが取りやすいことが決め手でした。

Bさん 子どもが小さいと働ける時間が限られますよね。私のワガママに合わせていただける環境だと思います。
Cさん 私は、Dさんから教えても

らって、自分も働けるかなと思いましたが、子どもが突然熱を出したり、具合が悪くなっても抜けられる。子ども中心で働けるのはありがたいです。

Dさん 子どもが幼稚園から帰宅する前に帰れるのはいいですね。それに夏休みとか長期で休みを取りやすいし、農業の経験がなくても作業は覚えたらすぐ慣れる。同年代が多いので働きやすいというのがあります。

Eさん 長い休みが取れば、家族でキャンプに行ったりもできます。家庭を優先しながら、少しでも収入が得られるのがいいと思います。

編集部 もっとこうだったら働きやすいのに、と感じることはありますか？
Eさん 作業に自信がなくて周りに教えてくれる人がいないとき、何をやればいいのかわからないことがあります。「自分一人では責任がとれないし、どうしよう」と困ってしまう。

Bさん 私の実家は農家なので、何も知らないわけではありませんでしたが、それでも細かい作業はわからない。まわりの人に教えてもらって覚える感じですね。

Dさん トマト以外に、春先はとうきび、秋には大根の手伝いに行くのはわかっているけれど、毎年ちよとずつやり方が変わっていて戸惑います。みんな忙しいので、誰に聞いていいのか……。ウロウロしていたらジャマだし、慣れない作業で遅いこともプレッ



シャーになる。

Cさん トマトはある程度経験があるから、上の人がいなくても自分たちで相談できるけれど、わからない畑だと誰に聞いたらいいのか、というのはありますね。リーダーというのはいないので、ベテランのパートの方や、早出の人に聞いたりしています。

Aさん 作業の確認はしていますが、別の人に違うことを言われたり。毎年、新人のようにドキドキです。

Bさん 多分、それぞれこだわりがあるんですよ。長くやっている方もいるし……。

Aさん 私は入った年からトマト栽培が本格的に始まったから、作業を二から十までじっくり教えてもらったけれど、後に入った人は、そこまで教えてもらっていないんじゃないかな。

Bさん 私は、入っていきなり現場で周りの人に教えてもらいました。

編集部 具体的には、どうすればもっと働きやすくなると思いますか？

Bさん たとえば、最初の1週間は研修のように、基本的なことを農業者から指導してもらえればやりやすいかも。聞く人によって作業の方法が違ったら、新しく入る側としては戸惑います。

Aさん 私たちも知識があるわけじゃないので、わかっていることしか教えられないし、それも自信满满で教えられるわけではないですよ。最初に

しっかりと指導してもらえば、私たちとやり方が違うからといって、新人も戸惑わないと思います。

Eさん あと、作業ノートはあるけれど、作業内容を書くだけだから、引き継ぎや作業の明確化にはなつてませんよね。私たちはグループLINEも使っていますが、たまにしか朝に連絡が回ってこない。私は出勤時間がほかの人より遅いので、事前にその日の作業内容がわかるとうれしい。LINEをもっとうまく使ったらいんじゃないでしょうか。

Bさん 作業で使う手袋やジャンパーなどは、支給や補助があるのいいと思います。今は自費で用意していますが、ジャンパーはそれなり高価だし、使い捨ての手袋は箱10000円くらいのをワンシーズン2、3箱くらい使うので、補助があると助かります。

Cさん 帰りにまっすぐ買い物に行く人もいるから、ちょっとした着替えの場所があるといいかな。でも、コミュニケーションの面では、先輩の方々は気さくに話かけてくれるし、わからないことも聞いたら教えてくれるので、働きづらさを感じることはないです。

Dさん 私たちは2、3年しか働いていないのでわからない部分も多い。同じ場所で作業する人同士や生産者とうまくコミュニケーションをとれる仕組みをつくるのが、働きやすさには大事だと思います。





お昼はそれぞれ自宅に戻って食事をとる山内農場。余裕のあるときは、山内さんの奥様とパートさんが一緒にランチに出かけることもあるそう。「同じ30代だから、話しやすいんじゃないでしょうか。仲良くしているですよ」と山内さん。



北海道農協青年協議会
副会長
山内晋二さん(JA道央)

03 雇用主としての立場から考える

働く人の立場に立った環境づくり

生産現場の労働力不足。生産者の皆さんはどう対処しているのでしょうか。パート従業員に長く働き続けてもらうには、どのような配慮が必要なのでしょう。家族以外の従業員を雇用している北海道青年協議会の役員の方々に取材しました。

主婦が働きやすい 柔軟な勤務体制

恵庭市の山内晋二さんは、去年、経営を引き継いだばかり。現在はご両親と奥様と4人で、水稻、馬鈴薯、てん菜、大豆、小麦のほか、直売所向けのミニトマトやピーマンを生産しています。

「パートさんをお願いしているのは、ハウス内の管理や収穫作業、出荷のための箱詰めや袋詰めです。春先には田植え、秋にはイモ掘りも手伝ってもらっているので、そのときはハウス内の作業を前倒しで進めるなど調整しています」

雇用しているパートさんは3人。うち1人は親戚で、あとの2人は近くに住む子育て中の30代の主婦です。期間は3月下旬から10月末まで、時間は朝8時半から正午、午後1時半から5時までですが、自由に休みがとれるようにしています。

「学校の行事や家庭の用事を優先して構いません、と伝えていきます。うちも雨が降れば急に作業を休むことがありますので、それでもいいという方に来てもらっています。都合に合わせて、朝だけ、半日だけ、と出てきてくれる日もありますよ」

パートさんの一人は、5年以上勤めてくれているベテラン。お子さんが小学生のうちは週末に休んでいましたが、中学生になってからは、仕事に出

従業員に長く働いてもらうために 生産者の取り組み



働き手の都合にあ わせた勤務体制を 整備

北海道農協青年部協議会
監事
伊藤司さん(JA今金町)

うちはメインのミニトマトがほぼ手作業なので、最盛期には30名近いアルバイトが必要です。養護学校の卒業生、離農した近所の方、子どもの友達のお母さん、夏休み中の高校生、東京農大などから農協経由で来てくれる住み込みの学生さん、あらゆる方法で集めています。勤務時間はあえて決めず、都合のいい日、都合のいい時間に働けるよう、タイムカードを導入しました。アルバイトさんを招待してお盆にはバーベキュー、年末には居酒屋で忘年会を開いているのも、来年も続けて来てほしいという気持ちからです。



気をつけているの は、従業員の話を 聞くこと

北海道農協青年部協議会
監事
村田辰徳さん(JA幕別町)

常勤雇用の男性が一人いるので、去年、従業員用の住宅として近所の中古住宅を購入しました。家族もいるので、春と秋の農繁期以外は、極力、土日を休んでもらうようにしています。忙しいときはほかに女性のパートさん数名に手伝いをお願いしていますが、気をつけているのは一人一人の話を聞くこと。不満はちゃんと伝えてもらい、改善できることは改善したり、要望を聞いたうえで勤務時間を相談したりしています。九州では、白菜の収穫期、漬物会社の従業員が農家に作業支援に来てくれるそうですが、うちでもマネできないかと農協で話し合っているところです。

うちでもよく働いてほしいから

パート従業員が定着せず、すぐに辞めてしまうケースも多いなか、山内さんは長く働いてもらうため、どのような配慮をしているのでしょうか。

「なるべく無理のないように作業を組み立てたいと思っています。思っているんですが、天気が悪いと計画通りにいかなくて…。そこが問題ですね」

休憩は倉庫のイスとテーブルで家族もパートさんも一緒に、お茶を飲むの



が習慣だそう。おやつは用意しておきますが、パートさんが旅行のお土産を持参したり、手作りのお菓子を差し入れてくれたり…。経営者と従業員というよりも、もっとアットホームな雰囲気のような感じです。

「雨が降ると、ミニトマトが割れてしまふんですが、うちのパートさんは収穫しながら口に入れちゃうみたいで、『おなかいっぱい』って倉庫に戻ってくるんです。生産者として、つくっているものを捨てることは極力したくない。同じ気持ちでやってくれているんだな、とうれしくなります」

パートさんも自分たちと同じ生産者。だから山内さんのところでは、イモ掘り後に残る小さなイモや、パック詰めで残る野菜は持ち帰り自由。新

米ができたなら試食用に1袋進呈。贈答用のイモやお米も特別価格で提供しています。

「できればずっとうちで働いてもらいたい」という山内さん。いま気にかけているのは、パートさんの健康管理です。「結婚してから一度も健康診断を受けていない人もいます。ご主人は会社で健診の機会があっても、主婦にはない。雇用側が一部費用を負担しても、JAグループの病院で健診を受けてもらう仕組みはできないのかなと思っています」

パートが働きやすい環境づくりは、働く側の立場になつて考えることから始まるのかもしれないね。

農業パートの求人

北海道内に10カ所の拠点を置き、求人情報サイトおよび求人情報誌を発信・発行している株式会社北海道アルバイト情報社。

同社では農業求人も取り扱っており、2017年9月には社員系求人サイト「ジヨブキタ」内で常設していた農業コーナーを「二次産業全てを網羅する」「北海道の農業・酪農・漁業、林業で働く」へ拡大リニューアル。

期間限定のパート募集は地元の求人を集めた「シゴトガイド」への掲載が多く、繁忙期の前になると各農家の求人情報が急増します。

近年の求人市場は「少子化を踏まえ、どの業界も人材確保には等しく苦労されています」と話すのは、北海道アルバイト情報社事業支援課の岩渕香織マネージャー。

「各業界の中で人が来る企業と来ない企業が存在します。企業側の求人の姿勢や工夫によって応募・採用状況が変わる場合も多いので、弊社をご利用いただく企業様には、工夫すべきポイントを押さえてアドバイスさせていただきます」

「収穫作業全般」を分解

では、人が集まる農業求人への第一歩とは「募集前に頼みたい仕事を分解すること」と岩渕マネージャーは強調

04 北海道アルバイト情報社に聞きました

すぐに辞めない！パート雇用ノウハウ

株式会社北海道アルバイト情報社 事業支援課 岩渕 香織マネージャー

手間も費用もかけて雇用した従業員がすぐに辞めてしまえば、また採用・指導の繰り返し。この悪循環に陥らない知恵をパート採用の現場で活躍する北海道アルバイト情報社の岩渕マネージャーにお聞きしました。

「条件に合う人だけを採用する」から「一緒に条件を話し合う」時代です。

します。「平日の収穫作業全般に10名募集」ではなく、「仕分け」「箱詰め」等に細分化し、どの時間帯に、どの仕事に何人必要かを整理していく作業です。

「二見面倒に思われるかもしれませんが、この《仕事分解》があとあと、応募者との希望条件のすり合わせに活きてきます。売り手市場の現在は、雇用主の希望条件をすべて飲んでくれる応募者を探すことは難しく、応募者の希望も取り入れながら互いに納得できる労働条件を探り当ていくプロセス

スが必要不可欠です。求人内容を分けておけば、それだけ振り替えがきき、採用のチャンスが広がります」

さらに、採用に欠かせない面接の場面にも工夫すべき点があります。

「雇用主・応募者の両者にとって採用後に『話が違ふ』というのは、一番避けたい事態です。面接は雇用条件を伝えるだけでなく、本当は土日のどちらかを必ず休みたいのか、テスト期間の前は早くあがりたいたのか、応募者の本音を聞き出す場にしてください。仕事現場の見学や教育係の方に引き合わせ



TOPIC

採用から 辞めない環境 づくりまでを この1冊で

「ようこそ!パートさん、バイトさん!〜農家のためのパートさん採用術」発行



パートさん、バイトさんの採用から雇用、続けてもらうためのさまざまなノウハウが冊子になりました。ホクレンと北海道アルバイト情報社がタッグを組んで編集した「ようこそ!パートさん、バイトさん!」では採用から定着までイラストを交えながらわかりやすく掲載。全道の実例を紹介しています。この「ようこそ!パートさん、バイトさん!」は各JAを通じて1月より配布予定。A5版とポケットサイズで携帯に便利なのでパート、バイト雇用のパートナーとしてお役立てください。



パートさんを募集して、働いてもらうところまで、イラストを使いわかりやすく丁寧に解説しています。



ポイントが一目でわかるよう配置。初めて採用する農家の物語に合せて楽しみながら理解できます。

内容

- プロローグ パートさん、どうしてうちの仕事に来てくれないんだ?
- 受け入れの心得 10 歩
- インタビュー パートさん確保の最前線から。
- バイトさんリアルボイス ● Q&A

雇用に失敗しない 3 つのポイント

継続して働いてもらうために大切なこと

1 仕事分解のススメ

ある長芋農家の場合、収穫作業は自分たちが担当。未経験者がやると長芋が折れてしまうなどのリスクを避ける一方で、収穫物の運搬・仕分け・箱詰めと細かく分けた軽作業でパートを募集。「応募者の希望通りの勤務時間」「昼食付き」という好条件もあり、30 名の定員をはるかに上回る応募がありました。



2 本音を聞き出す面接に

緊張している応募者は「何か希望はありますか?」という問いかけにも遠慮しがち。ですが、そこをうのみにせず、「どこまで希望に答えられるかはわからないけれど、まずは一通り言ってほしい」とやさしく促す姿勢が重要です。雇用主への印象アップにもつながり、信頼関係の始まりに。



3 目標は定着の好循環

「ここで働いてよかった」「良くしてくれた」と思ってくれたスタッフは、来年も応募してくれる可能性が大。定着組がいれば、その人のお友達応募にも広がり、新人指導も任せることができます。先輩がいきいきと働いている姿を見れば、次の新人たちも定着する。採用の好循環が続きます。



来年も来てもらえるように
最後の大切なポイントは「来年も来てくれる定着組を増やすこと」だと、岩淵マネージャーは語ります。今年限りの雇用ではなく、長期的な視野での人材育成が求められています。「私どものような求人サイトを使うにしても、自社媒体やハローワークで探すにしても、まずは働き手の立場になつて考えてみることに。そこから全てが始まります」

ホクレン
マーケット
通信

From Market

国内外の市場で起きている変化や動向を発信します。

ホクレン 農産部 麦類課

北海道産小麦の 需要がパン・中華 めん用にも広がっ ています

うどんを主とした日本めんだけでなく外国産小麦が主流のパン、中華めん用として北海道産の小麦が注目されています。

道内の小麦作付状況と 主な用途

道内で生産された小麦は、まず製粉メーカーで小麦粉に加工された後、各二次加工メーカーによって、うどんやパン、お菓子などの製品となり消費者の手元に届いています。国内では、

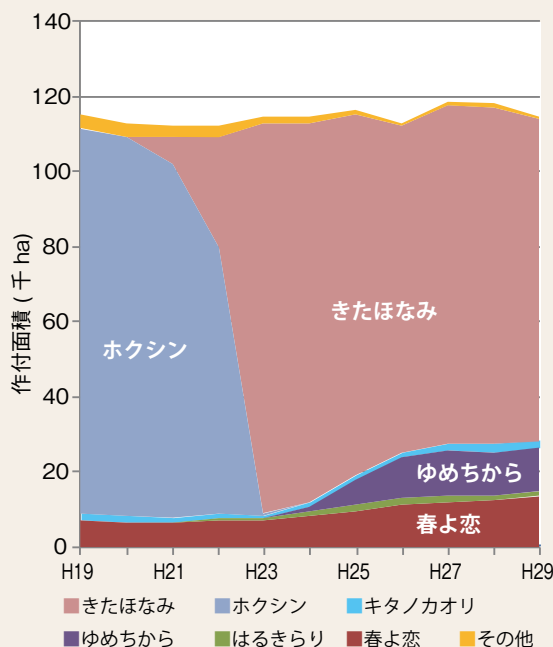


図1. 北海道内の小麦作付面積の推移

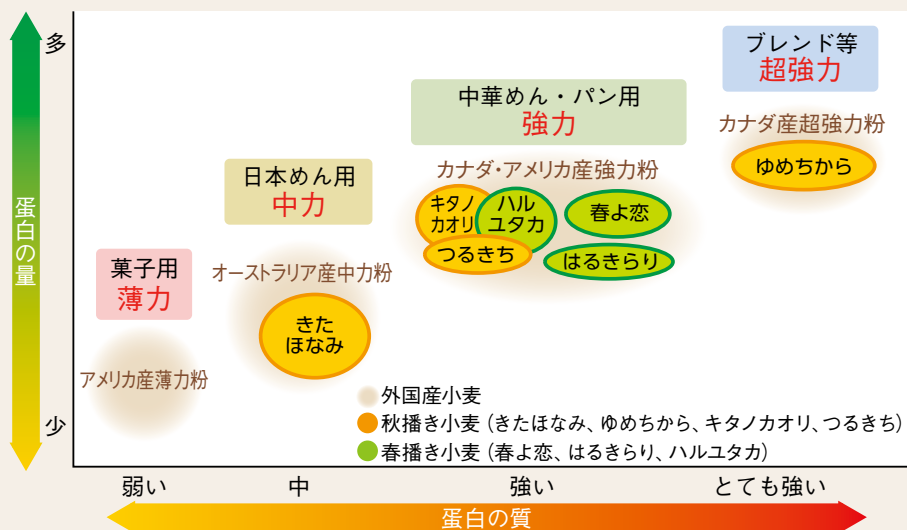


図2. 道内産と外国産小麦の特性と用途 (イメージ図)

年間で約600万トンの小麦が消費されますが、多くは外国産で、小麦の自給率は約12% (平成28年度) です。国産小麦の約7割は北海道で生産されています。

小麦に含まれるタンパクの質や量により、粉にして水を加えこねた時のねばりや弾力などの性質が異なり、品種によってそれぞれ適した用途があり

ます。北海道で最も作付けが多い「きたほなみ」は、タンパク含量が中程度 (強力と薄力の間) で、うどんを主とした日本めんを中心に、パンなど幅広い用途で使われ、品質も高く評価されています。

日本めん用は、自給率が5割を超えています。より消費量の多いパンや中華めん用の多くは外国産です。近年では、パン・中華めん用品種の開発が進み、作付けが増えその需要も着実に伸びています。

「春よ恋」は、ホクレンが育成した春播きのパン・中華めん用の主力品種で、風味豊かなパンが焼けると人気があります。また、秋播きの「ゆめちから」は、弾力などが強い超強力の特徴を持った品種で、「きたほなみ」等とブレンドしてパン・中華めん用に使われることが多く、道産小麦全体の需要拡大に期待されています。

北海道産の小麦は、近年では大手メーカーや外食チェーンの商品に採用されるなど、総じて需要が供給を上回る状況になっています。その一方で、実需者からは年産や地域間の品質・収量差が大きく、改善してほしいとの要望もあります。土壌病害発生等も踏まえ、適切な輪作を図るなど、安定生産に向けた取り組みが求められています。

新たな需要が期待される 道産の小麦

消費者にとって食の安全・安心は重要なものになっています。弊社では「おいしく、北海道らしく」をテーマに掲げ、安全・安心な道産原料の活用を積極的に行っていました。

例えば、現在では北海道産小麦を使ったパンや和洋菓子は当社で扱っている全商品の約2割に上ります。北海道の小麦を導入するにあたっては、その良さを最大限に引き出す工夫と技術の改良を行い、多くの試作を重ねてこれらの商品を開発してきました。

中でも、お客さまにご好評をいただいている食パン、絹艶シリーズの「絹艶北海道」は、小麦をはじめ生クリーム、上白糖、スキムミルクなども北海道産素材を使用した商品です。絹艶本来のしっとりとした食感に加えて、道産小麦ならではのモチモチとした味わいが、道内のお客さまにとっても喜ばれています。

また、道産の素材を使った商品は、道外に販路を持つバイヤーからも引き合いが多くなっており、北海道ブランドの広がりを感じています。そうした道産の素材を使い、これからも安

CASE ●日糧製パン株式会社

市場ニーズの広がりで 北海道産小麦を展開



日糧製パン株式会社
営業本部 業務部 商品企画課
販促企画担当
西脇 はる美さん

全・安心で、さらにおいしい商品を作り出していきたいと考えています。

日糧製パンは北海道企業として、北海道の活性化に貢献するという目標を持っています。道内の生産者の皆さんに生産していただいた良質な小麦を活かし、北海道を盛り上げる同志として、そのおいしさを更に広げていけるよう一緒に歩んでいければと思います。



絹艶北海道
小麦をはじめ、生クリーム、上白糖、スキムミルクも北海道産のものを使用。道産小麦ならではのモチモチとした食感と、小麦本来のうまみが楽しめます。



ロングライフ菓子パン
いつでもどこでもおいしい菓子パンを食べられるように、道産小麦を100%使用した菓子パンシリーズ。賞味期限が長いので、繁忙期の買い置きにも最適です。



北海道は、いまや全国に認められる小麦の産地です。道内のパン職人が新たな年を迎え、たくさんの想いを込めて札幌・チ・カ・ホに大集結する3日間です。是非、ご期待ください。

北海道産小麦100%使用

2018 パンマルシェ

Freshly baked breads

主催／ホクレン農業協同組合連合会
後援／北海道、札幌市(予定)
開催日／2018年1/19(金)・20(土)・21(日)
開催時間／10:00～18:00
会場／チ・カ・ホ 札幌駅前通地下広場



手で揺すりながら氷を詰める作業



ブロッコリーが入った発泡箱へ氷を投入



作業場所の清掃も担当

report from 旭川支所

北ひびき農協:選果施設の作業での 農福連携の取り組み

北ひびき農協では、今年、選果施設で障がい者の就労受け入れを試験的に行いました。選果などの人手が不足している農協側と、障がい者の働く場を広げたい福祉関係者のニーズが一致し始まったものです。

士別市にある「ノースリーフ合同会社」は、一般就労を目指す軽度の精神・知的障がい者を支援している事業所で、ホクレン旭川支所営農支援室が連携した取り組みを提案したのがきっかけでした。今年3月、関係者が集まり最初の打ち合わせが行われました。労働力確保ということだけでなく、地域の障がい者の働く場を広げる社会貢献の取り組みであることを踏まえ、働きやすい仕事の内容や環境を整える話し合いが重ねられました。

そして、同農協選果施設で試験的に受け入れることになり、施設に人材派遣をしている市内の運送会社が、「ノースリーフ合同会社」と施設外就労の業務請負契約を結び、今年7月から就労が始まりました。

作業は、発泡箱に詰められたブロッコリーに、製氷機からスコップですくった氷を入れる作業と、箱を手で揺すりながら隙間が無いよう詰めていく作

業を二人組で交代しながら行うものです。同社の生活支援員が付き添い、午前8時半から休憩等をはさみ午後5時まで週5日、7月から9月までの約3カ月間作業を行いました。同社の利用者5名でローテーションを組むことで、各人が毎回、半日程度の作業となるよう工夫しました。

斉藤青果課長は、「力仕事ですが、はじめに黙々と取り組んでくれています。短期雇用であるため働いてくれる人の確保が難しい中、大変助かっています」と働きを評価します。同農協では、今年の結果を踏まえ次年度の取り組みを検討することになっています。

また、管内の上川北部農協合理化澱粉工場でも9月から10月にかけて、同社の障がい者2名を、製品のフレコンバックへの充填や量目確認などで受け入れる取り組みが今年から始まっています。



お話を伺った
北ひびき農協 青果課長
斉藤 範人さん



橙果を選別（手前）



加工用トマト収穫作業の様子（茎からトマトを外して選別）



お話を伺った
美唄市農協 農産園芸課長
北藤 吉浩さん

report from 岩見沢支所

美唄市農協：試験農場収穫作業での農福連携の取り組み

美唄市農協では、所有する試験農場の収穫作業で、農福連携による障がい者就労の取り組みを平成25年から行っています。当時、美唄市の特産であるハスカップを長年栽培していた生産者の圃場が、離農で収穫の見込みがなくなまま放置されそうな状況になっていました。そうした時に美唄市役所から市内の社会福祉法人が障がい者就労の場を農業分野で探しているとの話があり、農福連携で収穫できないか検討することになったのです。

市役所から紹介された精神・知的障がい者等の就労支援事業所「爽やかネットワーク」と具体的な作業の内容や進め方などを話し合い、7月の約1ヵ月間、ハスカップの実の収穫に取り組みました。障がい者8名に事業所の支援員が2名付き添い、作業のやり方などを教えながら進めました。収穫する実の色がわかりやすいよう、実際に獲ったサンプルを並べて示すなど説明も工夫し、無事に作業を終えることができました。

翌年からもハスカップの収穫を中心に連携した取り組みは続き、平成28年からは、ホクレン岩見沢支所営農支援室とも連携し、農協の試験農場で、8名の障がい者が支援員とともに週5日（6月下旬から7月中旬まで）、ハスカップ試験圃での収穫作業を行っています。

また、新たな取り組みとして加工



写真左から収穫後・茎から外し収穫前・茎がついた状態

用トマトの収穫作業にも8月中旬から約1ヵ月取り組んでいます。収穫作業を行う同事業所には、収穫量に応じて作業料が支払われており、それぞれの障がい者に合ったペースで作業が進められています。

同事業所からは、「障がい者も皆張り切つて楽しく作業しており、就労に向けた訓練の場として継続してほしい」と要望されています。

美唄市農協は、障がい者の就労という地域貢献的な活動であり、試験農場の収穫にも欠かせない存在となっていることから、他の農作業へ広げることも視野に、今後も継続して取り組む予定です。

大きくてよくとれる!いちご「ゆきララ」

道総研 | 花・野菜技術センター研究部 | 花き野菜グループ | 研究主任 木村 文彦さん

POINT!

「ゆきララ」は果実が大きくて多収の春どり栽培用いちご新品種です。



[写真1]いちご新品種「ゆきララ」

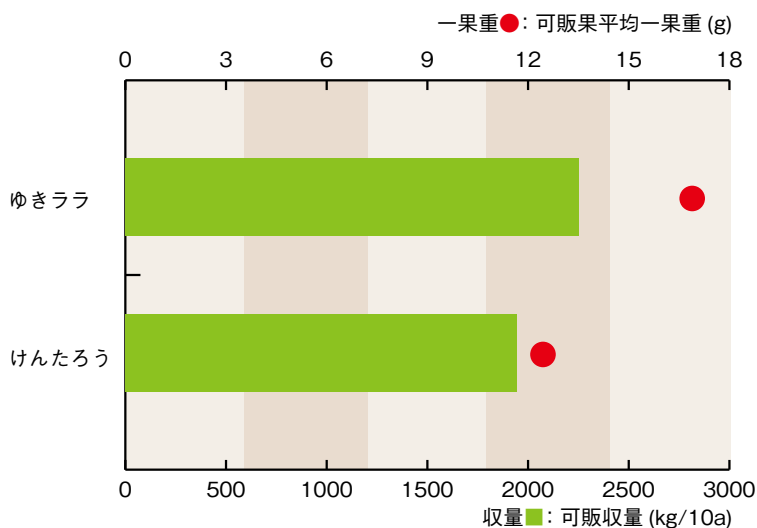
品種育成の背景

北海道の春どりいちご栽培で、現在、主につくられている品種は「けんたろう」です。「けんたろう」はその果実品質の良さから市場で高い評価を得ていますが、生産現場からは収量性の改善が求められています。花・野菜技術センターではこの課題に対応するため、「けんたろう」と同等の果

実品質でより多収の品種を目標として育種に取り組み、春どり栽培用いちご品種「ゆきララ」を開発しました【写真1】。

「ゆきララ」の特長

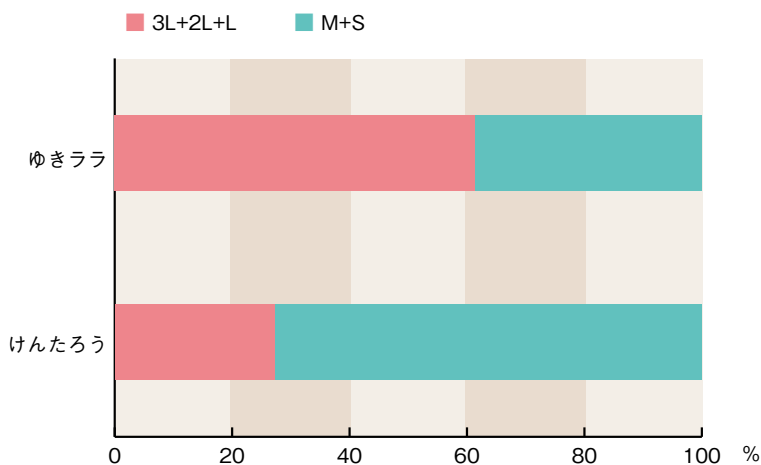
「ゆきララ」の最大の長所は、果実が大きく多収であることです。「ゆきララ」は、無加温半促成作型（8月下旬頃に苗を圃場に定植し、越冬



[図1]「ゆきララ」の収量、一果重 注) 2013～2015年の農試、現地のべ11試験の平均値。

●木村 文彦さん Profile：北海道大学大学院農学研究科修士課程を修了。平成12年から上川農業試験場でほうれんそう、みずな、キャベツなどの栽培試験に従事。平成23年から花・野菜技術センター勤務。現在はいちごの品種育成と栽培試験を担当。

後マルチに加えトンネルおよびハウスにより保温して、5～6月に果実を収穫する栽培体系）において、可販果の一果重が「けんたろう」の約1.3倍と大きく、「けんたろう」の約1.2倍の可販収量を得られます【図1】。果実が大きいことから、生食用で求められる高単価なし規格以上の割合が「けんたろう」より高く【図2】、所得の向上が期待できます。また、収穫期後半でも「けんたろう」より果実が大きく規格外の小果数が少ないため、収穫作業の省力化も見込めます。



【図2】規格別の収量割合
注) 花・野菜技術センターにおける2013～2015年の平均値。「3L」は30g以上、「2L」は22～30g、「L」は15～22g、「M」は12～15g、「S」は7～12gの正形果。

果実の品質など

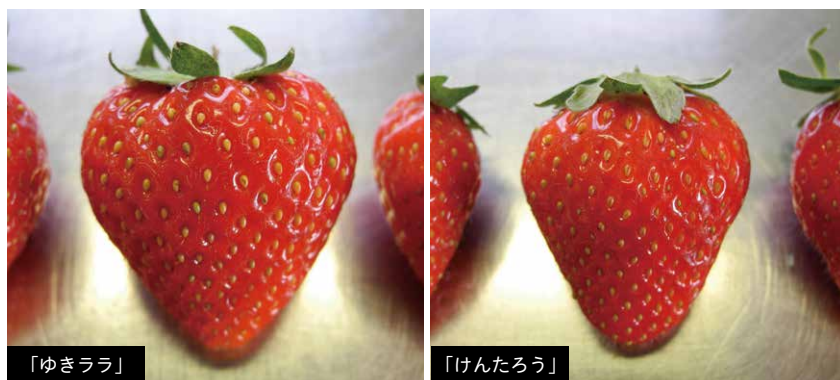
果実の品質については、果形が短円錐、果皮色は鮮橙赤～明橙赤で「けんたろう」と異なりますが【写真2】、外観および食味の評価は同等です。果実中心部の空洞は「けんたろう」に比べてやや大きめですが、日持ち性は同等です。総合的に「ゆきらら」の果実は十分な市場性を有すると判断しています。

「ゆきらら」の生育の特徴として、「けんたろう」より草丈が高く果房数が少ないことが挙げられます。いちご栽培に大きな被害を与える土壌病害（疫病、萎黄病、萎凋病）に対しては「けんたろう」と同等以上の抵抗性を有します。

新品種への期待

「ゆきらら」の普及対象は全道のいちご栽培地域です。2018年から親苗販売が開始される予定です。試作段階で果房数の確保などの課題が挙げられたことから、安定生産に向けた栽培法の確立に取り組み、生産現場をサポートしていきたいと考えています。

「ゆきらら」の品種名は、北海道を連想させる「ゆき」と、雪どけ後、春に開花・収穫に向かう明るい感じ



【写真2】果実の外観(2013年6月8日、花・野菜技術センター)

を音楽の旋律のように表現する「ラ」を組み合わせて名付けました。「北海道の春のいちご」の認知度向上と安定供給に「ゆきらら」が貢献することを期待しています。

テンサイ西部萎黄病(=テンサイ黄化病)の感染源について

ホクレン | 農業総合研究所 | 営農支援センター | 営農技術課

POINT!

近年、十勝、網走地方にテンサイ西部萎黄病が大発生し、大きな被害をうけました。来年度もまだ発生の恐れがあります。アブラムシなど感染源には十分な注意が必要です。



【写真1】スポット状に発生した畑

病徴と被害について

テンサイ西部萎黄病は、平成3、4年に西胆振、後志に大発生し、大きな被害を受けました。感染すると被害が大きく、糖量で30%以上も減収します。畑では、黄化症状が数株から数十株が点状またはスポット状にみられます【写真1】。写真のような大型の発病は、ウイルスをもった有翅モモアカアブラムシが飛来し、テンサイに感染を起こし、それから生まれた無翅アブラムシによって2次的に感染が広がったものです。黄化症状は7月下旬頃からみられますが、9、10月に明瞭になり【写真3】、畑全体が黄化する場合があります【写真2】。発病株は、葉脈と葉脈の間が黄化し、古い葉は厚みを帯び、触るとこわこわした感じになります【写真4】。

病原ウイルスと伝染方法について

この病気は、テンサイ西部萎黄ウイルスによっておこり、病名はウイルス名から、西部萎黄病とされました。アメリカ西部で発見されたことから「西部」という名が付けられました。しかし、当課でこの病原ウイルスについて詳しく解析したところ、アメリカ原産のウイルスとは、寄生性や遺伝的特性がかなり異なることがわかり、ウイルス名を黄化ウイルス（正

【表1】黄化ウイルスに感染する主な植物種 *雑草

科	植物種
ヒユ科	テンサイ、ホウレンソウ
アブラナ科	シロガラシ、ナズナ*、シロイヌナズナ*、ヒメアマナズナ*、ツノミナズナ*、クジラグサ*
キク科	レタス、ノボロギク*、ヒメチチコグサ*、オニタビラコ*
マメ科	エンドウ、ペニバナツメクサ（クリムススクローバ）
ナデシコ科	オオツメクサ*
スベリヒユ科	スベリヒユ*

式名黄葉ウイルス）、病名を黄化病と改名することを提案しています。

西部萎黄ウイルスはハクサイ、カブ、キャベツ、ブロッコリー、ダイコンなどアブラナ科作物やナス科植物などたくさんの植物に感染するのに対して、北海道で発生した黄化ウイルスはこれらの作物には感染しないことがわかりました。

ウイルスは球状で【写真5】、モモアカアブラムシによって伝搬されます【写真6】。アブラムシは罹病植物を



【写真2】全面に黄化症状が発生した畑

1時間以上吸汁するとウイルスを保持し、30分以上の吸汁でウイルスをうつしますが、吸汁時間が長いほど伝染率は高まります。一度保毒したアブラムシは、一生ウイルスを感染させる能力を持っていますが、子孫（子虫）には伝わりません。

感染源について

当課では、ウイルスがどのような植物に感染するか調べました。その結果、テンサイ以外に表1に記した植物に



【写真4】黄化症状



【写真3】黄化症状株

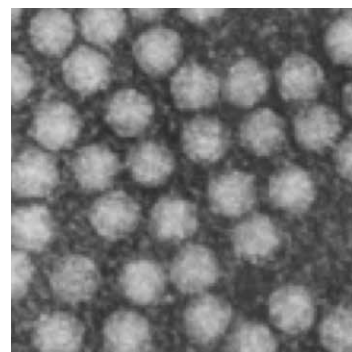
感染することがわかりました。もしこのような作物や雑草が秋季にウイルス感染し、越冬すると、重要な感染源になる可能性があります。

なお、ハクサイ、カブ、キャベツ、ブロッコリー、ダイコンのようなアブラナ科の作物はウイルスに感染しませんが、モモアカアブラムシの繁殖に最適な植物です。とくに越冬ハウス内では、アブラムシが発生しないよう、十分な注意が必要です。

（営農技術課 顧問 玉田 哲男）



【写真6】モモアカアブラムシ(有翅と無翅)



【写真5】ウイルス粒子

堆肥の効果を発揮するために～土づくりを、かけ声から具体的な技術へ②

ホクレン | 肥料農薬部 | 技術普及課

POINT!

堆肥を施用する目的を明確にし、目的に合わせた堆肥を施用しましょう。

良い堆肥 Ⅱ 完熟堆肥?

「堆肥は必ず完熟させる」、「堆肥で土がホクホクになる」。堆肥にこんなイメージを持つ方は多いですが、堆肥を施用するだけで必ず良い土の条件を満たせるわけではありません。また、必ずしも完熟でないといけないわけでもありません。堆肥の効果を最大限に発揮する方法を紹介します。

堆肥の効果のあらわれ方と土の条件

堆肥で期待できる効果は、主に①養分としての効果（多量要素や微量元素、緩効的な肥効など）、②安定した有機物としての効果（土の物理性改良、保肥力増加など）、③生物の供給源としての効果、の三つです【表1】。

土づくりしたい圃場の性質・状態を把握することが、堆肥にどんな効果を期待するか決め手になります。養分としての効果のうち、多量要素と緩効的な肥効は土の条件に関わらず効果が期待できますが、微量元素としての効果は、水田では灌漑水から微量元素が供給されるためあまり期待できません。

また、安定した有機物としての効果の大きさは土壌中の有機物の量で異なり、有機物が少ない圃場で効果

【表1】堆肥（有機物）の施用効果

(山根、1981 に加筆)

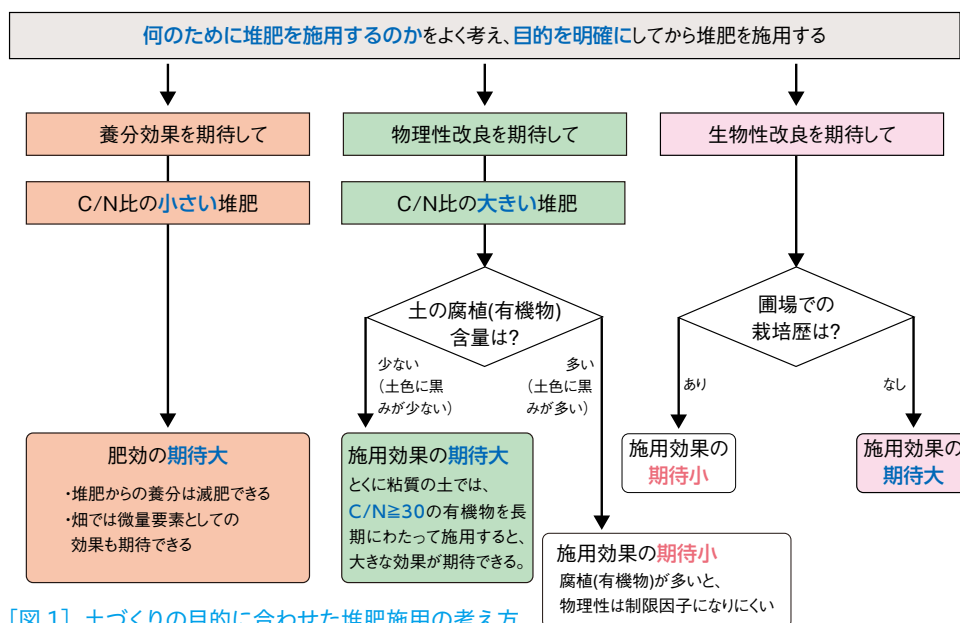
堆肥(有機物)の効果	効果の詳細	造成地	畑		水田	
		有機物 少	有機物 少	有機物 多	有機物 少	有機物 多
養分として	三要素肥料として	○	○	○	○	○
	微量元素肥料として	○	○	○	×	×
	緩効性肥料として	○	○	○	○	○
	植物ホルモンとして	○	×	×	×	×
安定した有機物として	物理性の改善や保肥力増加など	○	○	×	○	×
生物の供給源として	微生物、地中動物の供給源	○	×	×	×	×

○：効果が期待できる ×：効果が期待できない 有機物(腐植)の判定基準：砂質の土なら1～2%程度、粘土質の土なら5～6%が目安

【表2】各種有機物資材や堆肥の C/N 比による分類と効果

C/N比		～10	～20	20～30	30～
堆肥の特徴		養分効果大		遅効性	安定有機物
各資材間でのC/N比の比較	小 ↑ ↓ 大	魚粕 大豆粕 鶏ふん 食品工場汚泥 豚ふん	クローバ 稲わら完熟堆肥 米ぬか 牛ふん 稲わら中熟堆肥	おがくず牛ふん堆肥 おがくず豚ふん堆肥 稲わら未熟堆肥	バーク堆肥 稲わら 麦わら 製紙かす おがくず
期待される効果	養分として	○		△	×
	土壌の物理性改良	×		△	○

○：効果の期待大 △：施用当年からの効果の期待中 ×：効果の期待小



が期待できます。有機物の量は厳密には分析しないとわかりませんが、土の色（黒み）がある程度の指標になります。

生物の供給源としての効果は造成地のような極度に有機物の少ない土では期待できません。一般的な圃場ですでに多くの生物が生息しているので、効果は小さくなります。

堆肥の種類と効果のあらわれ方

①炭素と窒素の比率（C/N比）

堆肥や有機物資材の効果のあらわれ方は、炭素（C）と窒素（N）の比（C/N比）によって決まります【表2】。完熟堆肥のように炭素が少なく窒素の多い堆肥（C/N比小）は、早く分解されるので養分効果があらわれやすいですが、土に有機物として蓄積しにくいため物理性改善には適しません。逆にバーク堆肥のように炭素が多く窒素の少ない堆肥（C/N比大）は、養分効果はあまり期待できませんが、分解が遅く安定した有機物として蓄積するので、物理性の改善を期待したい場合は、毎年施用すると効果的です。

②窒素飢餓に注意

C/N比が大きい堆肥や有機物資

材を施用すると、微生物によって分解される時に土壌中の窒素が使われ、作物が使える窒素が不足し生育が抑制される（窒素飢餓）恐れがありますので、窒素施肥量を増やすなど注意が必要です。完熟堆肥が良いとされてきた背景には窒素飢餓を防ぐためもあると思われます。

良い土を目指すための堆肥施用

土づくりにあたっては、目的に合わせた堆肥の施用が大切です【図1】。

①土壌物理性の改善

安定した有機物としての効果を期待してC/N比が大きい（未熟）堆肥が適します。ただし、改善効果が実感できるまでには長期的な運用が必要です。

②土壌化学性の改善

C/N比が小さい（完熟）堆肥を施用することで養分供給効果が期待できます。施用した年から効果があらわれるので、北海道施肥ガイドに基づいた減肥を適切に行いましょう。

GAP

ホクレン 経営企画部 食品品質・表示管理課

「GAP」: Good Agricultural Practice

農産物の安全を確保する GAP（農業生産工程管理）活動推進とこれからの取り組み

GAPとは

農業生産活動には、残留農薬基準値超過、異物混入、O・157等の微生物汚染および異品種混入といった食の安全・安心を脅かすリスクをはじめ、農作業事故や環境汚染などさまざまなリスクが潜んでいます。万が一事故が起きてしまった場合には、農産物の回収や廃棄など、多大な損失を被るばかりか、産地ブランドの失墜にもつながりかねません。

生産者の皆さんは、生産物の安全を確保するための生産履歴記帳を中心に、環境保全や労働安全を確保するための点検などを日頃から行っていると思います。

GAPとは、そのような取り組みで、注意すべき項目を自らリストアップし、これに沿って農作業を実施・記録。その記録を検証し、次の生産に向けて改善に結びつけていくことで、農産物の安全を確保し、より良い農業生産を実現する手法です。

GAPの取り組みは、生産管理や効率性の向上・生産者自身や従業員の経営意識向上につながる効果もあり、農業人材の育成や農産物の信用力・競争力の強化にも有効です。

「GAPをする」と「GAP認証をとる」

農林水産省ではGAPの推進にあ

たり、GAPをすること、GAP認証をとることの両方を進めることとしています。

①「GAPをする」とは、生産者の皆さんがGAPの活動または取り組みを自ら実施することで、認証を取得しているかどうかは関係ありません。具体的な取り組みとして、まずは皆さんが普段行っている整理整頓や生産履歴の記帳を行うことが基本となります。次に、(表1)のようなチェック項目に従って農場内を点検し、問題点を見つけたら改善していきます。

②「GAP認証をとる」とは、第三者機関の審査を受けて認証を受ける

表 1. GAP 活動チェック項目

取組項目	取組内容	チェック
食品安全	農業を適正に使用・保管している	☐
	異物混入の防止に注意している	☐
環境保全	適切な施肥を行っている	☐
	廃棄物を適正に処理している	☐
労働安全	機械・設備を点検・整備している	☐
	作業安全用の防護服を着用している	☐

表 2. 農林水産省生産局農業環境対策課作成「GAP（農業生産工程管理）をめぐる情勢」より抜粋

	グローバル GAP (GLOBALG.A.P.)	アジア GAP (ASIAGAP) / JGAP
運営主体	FoodPLUS GmbH (ドイツ)	一般財団法人 日本GAP協会
審査会社	3社(東京2、神奈川1) ※いずれも外資系日本法人(日本人審査員がいない会社が他に2社あり)	4社(北海道1、東京2、神奈川1) (審査会社によっては地方に審査員を配置)
審査費用	25～55万円程度＋旅費(内訳) ①運営会社への登録料 ※面積に応じて増減 日本の一般的な規模の場合: 5～30ユーロ程度 ②審査経費	10万円程度＋旅費(内訳) ①運営会社への登録料 ※面積によらず一律 (個別認証) 5,000円 (団体認証) 2,000円／経営体 ②審査経費

ことで、これによりGAPが正しく実施されていることが証明されます。現在、日本の第三者認証GAPにはグローバルGAPとアジアGAP/JGAPがあります(表2)。取引先から求められた場合には「認証をとる」が

農林水産省パンフレット『「GAP」でより良い農業生産を！』より抜粋

(1) GAPに取り組みましょう！！

まずは農業生産のレベルアップ！！

GAPをする

ステップ1：基本の整理整頓から！

みなさんがこれまでに組みこんできた整理整頓や、生産履歴の記帳が基本です。



写真提供：(一財)日本GAP協会



ステップ2：チェック項目に従って、農場内を点検！

いつもやっていることですが、問題点を見つけたら改善していきましょう。

食品安全

＜日頃の取組＞
異物混入の防止、
農薬の適正使用と保管



ほかにも
来訪者への衛生指示

環境保全

＜日頃の取組＞
適切な施肥、土壌浸食の防止、
廃棄物の適正処理・利用



ほかにも
水の使用量把握と節水対策

労働安全

＜日頃の取組＞
機械・設備の点検・整備、
作業安全用の保護具の着用



ほかにも
事故防止の作業手順書作成

人権保護

家族経営協定の締結、
技能実習生の作業条件遵守

農場経営管理

責任者の配置、教育訓練の実施、
内部点検の実施

その他

商品回収テストの実施、
資材仕入先の評価

GAPに取り組むときには、専門家の指導を受けることが効果的です。
民間のコンサルタント会社もありますが、営農指導員や普及指導員の中でGAPの指導
ができる方もいます。普及指導センターや農協にも相談してみましょう。

※ 普及指導員や営農指導員から指導が受けられれば、コンサルタント費用が削減できます。
※ 農協等では、営農指導員などが指導者研修を受講し、推進体制を整備することが有効です。

(2) GAP認証を取りましょう！！

認証が必要になったら次のステップへ！！

GAP認証をとる

- ・取引先からの要求に応じたい
- ・東京オリンピック・パラリンピックに出したい
- ・輸出したい

認証を
取りましょう！！

ステップ3：準備完了、いざ審査！

- ・審査会社に申込み。(相談はお早めに)
- ・審査員に取組を評価してもらいます。→ 指摘があれば改善！

ステップ4：ついに認証取得！！

- ・引き続き、より良い農業生産に向けて改善していきましょう！
- ※ 認証取得までに標準で半年～1年程度かかります。
- ※ 認証の有効期間は通常1年間です。
- ※ 認証を取得する場合は一定の費用がかかります。

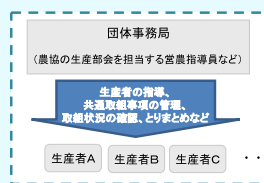
GAP認証の取得で販売先を拡大！！

取引先の要望をよく聞いて、必要な認証を取得しましょう。

	JGAP	GLOBALG.A.P.
オリンピック・パラリンピックの 調達基準での要請	○	○
国内販売先の取得要請	△ (一部の大手スーパーなど)	△ (一部の大手スーパーなど)
海外マーケットの現状	△ (台湾、香港、東南アジアで普及推進中)	△ (特にヨーロッパで普及)

団体認証に取り組むことで個々の生産者の負担を軽減！！

複数の生産者が集まってグループを
構成し、認証取得を目指しましょう！



＜団体認証の効果＞

- 個別認証で求められる取組の一部が団体の
取組として共通化され、個々の生産者の皆さ
んの負担が軽減されます！
- グループが大きくなるほど、個々の生産者
の皆さんの費用負担は軽減します！

※審査費用（例）

個人	団体 (50名の場合：1名あたり)
10万円～55万円程度	2万円～11万円程度

表3. 農林水産省パンフレット『「GAP」でより良い農業生産を！』より抜粋 ※審査費用（例）

個人	団体 (50名の場合：1名あたり)
10万円～55万円程度	2万円～11万円程度

農林水産省ホームページ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/>



日本国内の情勢

必要となりますが、その際には、複数の生産者が集まってグループで認証をとる「団体認証」に取り組むことで、個々の作業や費用の負担を軽減できます（表3）。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでは、食材調達基準にGAP認証取得などが要件となったこと、さらには、輸出拡大や農業経営の改善・体質強化に向け、国では、GAPを推進する環境整備を進めています。農林水産省のホームページにもGAPに関わるさまざまな情報が掲載されています。

JAGグループ北海道の取り組み

JAG北海道中央会とホクレンでは、本年9月に「JAGグループ北海道GAP推進チーム」を設置しました。11月～12月には、GAPの正しい理解醸成を図るための研修会を全道4カ所で開催しています。また、今後の全道的なGAP取り組み推進に向けて、基本方針の具体化はもとより、推進工程、点検リストの作成や研修・セミナーの企画を進めていきます。

C_{hemicals}

JA ピンネ

水稻防除 豆つぶ剤普及への取り組み



十河 勝さん
JAピンネ 水稻振興会

新十津川町総進地区で水稻 26ha と小麦 5ha の栽培を行う十河さん。後継者となる息子さんと一緒に営農しています。平成 29 年より、初中期の除草剤として豆つぶ剤の「ヤブサメ」を水田の全体となる 26ha で導入。作業の省力化と、従来の薬剤と変わらない効果を実感しています。

▼ヤブサメを使用した圃場



**丸2日かかった除草剤散布が
豆つぶ剤なら半日で完了**

水稻の新しい除草剤としてクミアイ化学が開発した豆つぶ剤。軽くて拡散性に優れ、薬剤散布の省力化が図れると注目されています。平成 29 年度は、全道の約 10% の水田で使用されました。一方、JA ピンネでは資材部門と営農渉外部門が連携して普及拡大を図り、20% を超える水田で使用されています。生産者の方に話を聞いてみました。

JA ピンネ水稻振興会に所属する十河勝さんが、豆つぶ剤を知ったのは昨年 6 月のこと。隣の水稻農家がか何かを手撒きしているのを見て、「追肥の時期でもないのに、何をしているのだろう?」と思い尋ねてみました。その時に撒いていたのが、豆つぶ剤の除草剤。「これは作業が楽でいいよ」と話してくれました。

そこで、JA ピンネ資材燃料課の倉田裕士課長に相談。それまでも豆つぶ剤は紹介されていましたが、隣でその作業性をまのあたりにしたこと、そして、昨年、これまでの 2 成分から新たに 3 成分が入った豆つぶ剤「ヤブサメ」が発売されたこともあり、今年から水稻の全圃場で豆つぶ剤のヤブサメを使用しました。

まず驚いたのが、作業時間の短さ。「息子と 2 人で 26 ha の圃場で作業し

て、だいたい 4 時間半くらい。以前の除草剤散布は、ラジコンボートで 1 日 8 時間から 10 時間作業しても、丸 2 日間、さらにその後、ボートやノズルを洗うなどの手間がかかっていた。豆つぶ剤は、付属のひしゃくで撒くだけなので道具の手入れもいらず、本当に作業が楽でしたね」

薬剤の効果もそれまでの薬剤と遜色なく、満足しているという十河さん。「費用面と、草の状態を見て使い分けしています。やはり、草のないうき田んぼにしたいからね。作業がしやすい豆つぶ剤で、水持ちの悪い水田でも効くものが出てくれればいいですね」。今後も豆つぶ剤をメインに使用しながら、雑草の多い圃場では中後期除草剤との体系的な使用で進めていくと話してくれました。

付属のひしゃくで飛ばすようにして散布します。1ha くらい（初中期一発剤の場合）までの圃場なら水田に入らず畔から撒くだけで完了です。



資材と営農で連携して全戸訪問 高齢に優しい薬剤に大きな期待

J Aピンネでは、豆つぶ剤が発売された当初の平成25年度から、実地試験を行っていました。というのも、J Aピンネでは水稲作付者のうち、60歳以上の割合が新十津川町は約4割、浦臼町では約半数と高齢化が進んでいます。近年は薬剤散布がしづらい高齢の生産者のため、J Aの営農推進課や農協青年部がラジコンボートでの散布を担っていましたが、依頼する人が増えてなかなか順番が回って来ず、適期に散布するのが難しくなっていました。そこで、大幅な省力化が図れる豆つぶ剤の実地試験に、いち早く取り組んだのです。

浦臼町の圃場で試験を行ったところ、軽量で拡散性が高く散布しやすいこと、効果も従来の除草剤と変わらず

発揮されることがわかり、積極的に推進していきました。

J Aピンネでは、資材燃料課と営農渉外課の職員が一緒に、毎年6月と11月に全戸訪問を行い、農薬の使用状況や効果について、一軒一軒面談を行っています。そこで生産者の率直な意見を直接聞き、資材の普及や営農指導に活かしています。その取り組みの二環として豆つぶ剤の普及を行い、平成29年度では約2割の水田にまで拡大。豆つぶ剤は女性や高齢者でも散布しやすいので、積極的な普及に努めています。

「3成分が入った『ヤブサメ』の発売が、やはり大きな要因となり、昨年から大きく伸びました」と営農部 営農渉外課の箕浦典昭さん。導入した生産者から不満は一件もないと言います。今後の普及拡大にもより一層力が入ります。



JAピンネ 経済部
資材燃料課 課長
倉田 裕土さん



JAピンネ 営農部
営農渉外課
箕浦 典昭さん

水稲用農薬新規剤 豆つぶ剤について

豆つぶ状で自己拡散性が高い薬剤。水面に広がった後、土壌表面に吸着し、除草剤処理層を作ります。水面に均一に自己拡散するため、撒きムラの心配が少なく、土壌面に落ちてから処理層が作られるので、作物の葉に直接影響を与えません。10aにつき250gと従来の薬剤より軽量で作業がしやすいのが特徴です。

初期除草剤「ショキニー」、ミズアオイ、オモダカ、ノビエにも効く3成分の初中期一発処理剤「ヤブサメ」、後期剤「アトトリ」などが販売されています。



水田に散布後の状況



崩壊して分散している様子





図1. 右はドローンとマルチスペクトルカメラ。左は自動航行を設定している様子

※機種「Phantom 3pro (DJI 社)」 カメラ：機体付属の4Kカメラ、およびマルチスペクトルカメラ「Sequoia (Parrot 社)」



図2. ドローン空撮画像による課題の抽出
(左半分が秋播き小麦、右は緑肥)

- 画像により“見える化”できた箇所
- 事前に認識していた箇所

I CT

ホクレン 訓子府実証農場 農産技術課

ホクレン訓子府実証農場レポート① リモートセンシングによる生産性向上への挑戦

ホクレン訓子府実証農場では、本年度、実規模の圃場を整備し、畑作物に関する新技術の実証試験を開始しました。その一つに、労働力不足対応の切り札ともされるスマート農業関連の取り組みがあります。今回は、今話題のドローンを利用したリモートセンシング（以下、センシング）についてご紹介します。

1 センシングで何をするのか

今、主流のセンシングは、ドローンと衛星によるものに大別されます。その中で、センシングに用いるドローンは、最新の機種でも4Kカメラ付きで20万円程度と、比較的安価で導入し

やすくなっています。私たちは、画像やデータから課題を見つけ出し対策を実施するプロセスを通じ、生産性に関するセンシングの効果を検証しています。

2 課題を見える化し 対策を実施

当農場では、主に秋播き小麦、馬鈴しょ、てん菜および大豆を作付し、各圃場を適宜ドローン（図1）※で撮影しています。図2は秋播き小麦圃場における降雨の影響やその要因を見たものです。センシング画像を見る前も、圃場内で倒伏した部分があること、画像左下部に水が溜まりや



図 3. カットドレーン施工による排水性対策

すいことは認識していました。しかし、この画像から、それまで正確に把握していなかった倒伏した場所や、表面水や明渠めいきよからの水の流れがはつきりわかりました。つまり、上空から得た画像で「課題を見える化」することができたのです。

次に、見える化した課題のうち、排水性に着目し対策を講じました。次年度に作付予定のてん菜の湿害を低減する目的で、①東側隣接圃場からの表面水の流入を防ぐための額縁明渠施工、②カットドレーン施工（図3）、③側溝の土砂上げを計画・実施しています（一部検討中）。

3 画像処理方法の検討

先の空撮画像は、80mの高度からドローン付属の1200万画素の4Kカメラで撮影したものです。この画像からは植物個体別の生育や病害発生状況などは分かりません。それらを知るためには、より解像度の高い画像をつなぎ合わせたものがが必要です。その作成には有料ソフトからフリーソフト、クラウドサービスなどさまざまな選択肢があります。有料ソフトは高額なものが多く、また作動させるにはスペックの高いパソコンが必要です。使用目的や用途に応じた選択肢を整理し情報提供したいと考えています。

4 今後、検証する内容

次年度は、可変施肥に向けてのドローン活用についても検証していきます。また、衛星画像やレーザー式生育センサーとの精度、使いやすさ、費用面などについても比較検討したいと考えています。なお、ドローン使用に際しては法規制など守らなければならない点があります。ルールを守り安全な使用に努め、生産性を高めていってほしいと思います。

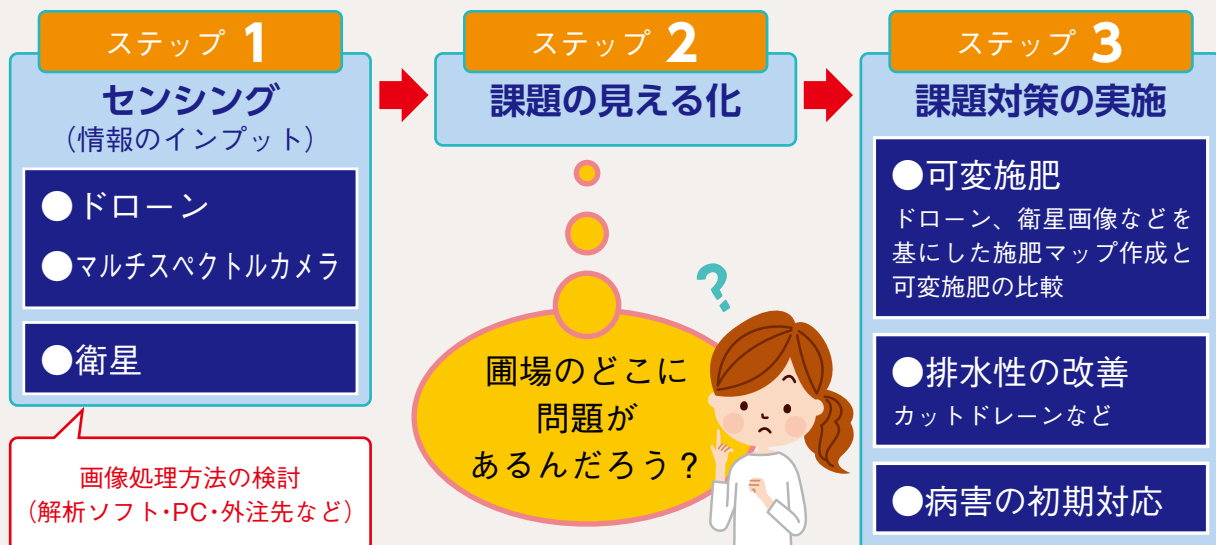


図 4. 課題の見える化と対策の実施



イベント中の様子



「あぐりキッチン」で地元素材を使った料理を提供



会場では流水の展示や野菜の詰め放題も実施



「JA 東京アグリパーク」の利用は各団体 1 週間単位です。JA グループであれば利用料 216,000 円で利用できます（通常 540,000 円）。地域の魅力発信に活用されてはいかがでしょうか。

「JA 東京アグリパーク」（東京都渋谷区代々木 2 丁目）の施設利用などの詳細はお近くの JA を通じて、ホクレン市場リサーチ課までお問い合わせください。

●市場リサーチ課 TEL 03-5821-3021

●JA 東京アグリパークHP : <http://agripark.tokyo/>



東京・新宿にあるイベントスペース「JA 東京アグリパーク」で、10月3日～8日まで「JA オホーツク網走主催」「網走まるごと市場」おいしいまち網走」が開催されました。「JA 東京アグリパーク」は、首都圏の消費者に農業の魅力を発信する場です。今年4月のオープン後、全国のJAなどがイベントを開催し、リピーターが着実に増えています。

今回は、網走産の長いもやスイートコーンなどの農畜産物のほか、海産物の販売や本物の流水展示など、「網走市」の魅力をまるごとPRする内容になりました。試食のスイートコー

E vent

ホクレン 販売推進部 市場リサーチ課

首都圏の消費者に「網走市」の魅力をPR!

ンを食べたお客さまから「こんなに甘い初めて食べた!」と喜んでいたり、厨房施設を備えた「あぐりキッチン」で「道産牛のビーフストロガノフ」を味わったお客さまから「お肉が柔らかくて感動した」との声をいただきました。また、冷凍ミンククジラの赤肉は、「初めて見た!」「どうやって食べるの?」と注目を集めました。イベント期間中、6日間で約6000人以上の方が訪れました。

JA オホーツク網走 青果課の志賀さんは話します。「訪れたお客さまは、北海道に魅力を感じ来店されている方が多く、『北海道』ブランドの力を実



お話を伺った
JA オホーツク網走
販売部 青果課
志賀 翔平さん

感じました。珍しい加工品や流水など、網走市ならではの商品や展示物は多くの関心を集めていました。初めての出展で、予想より売れ行きが良く品薄になるものがあるなど、今後改善するところはあるますが、多くの方に「網走」を知ってもらえたのではないかと思います」

教えてください！「パート・アルバイトに関して心がけていること」あなたのポイント

「また、ここで働きたいな」と思ってもらえるような対応を一番に考えているようです。

コミュニケーションをとるのはもちろんのこと、安全性にも気を遣っています。

*は皆さんからの投稿総数による関心度です。

雇用条件 ****

お給料や仕事量・時間などの条件はやはり重要な点です。

■あまりハード過ぎず充実した仕事内容になるように……と考えます。

(中富良野町・女性)

■他産業の雇用条件と同等を心がける。

(大空町・男性)

■極力主婦や、大学生、定年を迎えた人をお願いするようにしている。また、雇用した人の都合にあわせられる体制を心がけている。ただそれとは別に仕事内容と給料に関してはもっとドライになってもいいのかなと思ってきている。

(名寄市・男性)

■時給、日給などの条件を明確にして納得してもらった上で雇用します。

(湧別町・男性)

■仕事のできる、できないより人間性を重視して人選しています。周りの人たちと上手くやっていけないと仕事にも支障が出るので……。 (岩見沢市・女性)

■行う仕事を好きになり、楽しく真面目に働いてくれる人を雇う。

(足寄町・女性)

気遣っています ****

言葉づかいや相手の立場に立った考えが大事なようです。

■農繁期のみの雇用になるためなかなかパートさんが見つかりません……。今雇用しているパートさんも高齢化しています。なるべく無理はさせず、仕事の内容を考えながら最後まで来てもらえるように気を遣っています。(浦幌町・女性)

■指導するとき、相手に不快な思いをさせないよう、言葉づかいに気をつけています。

(真狩村・男性)

■夏野菜の収穫で、町の人にも手伝ってもらっています。相手の家庭環境、体調はよく聞くようにしています。

(大空町・女性)

■声かけ!言葉づかい!など、雇用主の目線より仲間目線で接する。

(中富良野町・女性)

■採用や面接時に既存のパートさんも同行して、実際のパートさんから見た作業を雇用前のパート希望者に伝えるよう心がけています。雇用する上ではパートさんにできるだけ作業の権限を委譲して、要望に応えるようにしています。

(江別市・男性)

職場環境 ***

楽しく働けるような環境づくりをしています。

■とにかく働きやすい環境を提供しようと心掛けてます。おかげさまで募集することなく、知り合いの知り合いとかさまざまつながりで毎年、人員には困ってません。ここが良いよと話してくれると、ぜひ行きたい!っていうふうになりますもんね。そんな職場作りをこれからも心掛けます。

(美瑛町・女性)

■トイレが心配ですね、なるべく気兼ねなく使えてできれば洋式が欲しい。現在和式簡易トイレ。(小清水町・男性)

■楽しく働けるように工夫している。

(東川町・女性)

■常に作業を楽しくするようにしています。

(京極町・男性)

安全性 ***

声かけや気をつけて見ておくことにより、安全を確保しています。

■皆さんに平等に接する。事故のないよう声かけをマメにする。(北見市・男性)

■怪我をさせないように気をつけて見る。

(帯広市・女性)

その他

■長年来てくれているパートさんはわがままも出てくるので時にはビシッと厳しくいうこともあります。いつもではありませんが、喜んでもらえるおやつを出します。新しく来てくれた方には会話を重視しています。コミュニケーションが大事だと思います。

(石狩市・女性)

■働いてくれる人とコミュニケーションをとることで信頼関係を築く。

(岩見沢市・女性)

■休憩中は短時間でリフレッシュ出来るような会話をする。

(浦臼町・男性)

■ほとんどが家族労働なので(たまに手伝ってもらう)、仕事の流れをわかりやすく説明するのが意外と難しいと思います。

(名寄市・男性)

■求人に自分たちの目標など夢をメッセージに載せる!

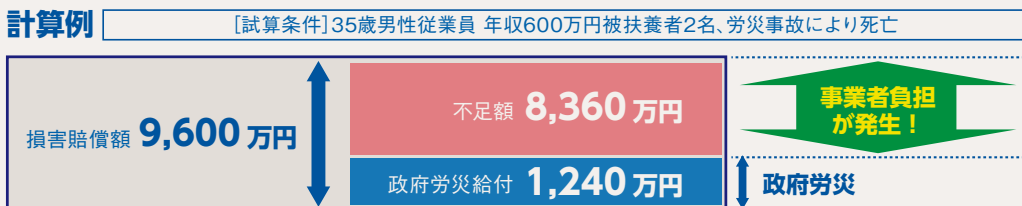
(豊富町・女性)

■怒ってもしようがない!

(上富良野町・女性)

従業員と事業者を取り巻くリスクをサポートする。

図 1. 事業者保障の計算例



(注) あくまでも試算条件に基づくシミュレーションであり、実際の不足額や政府労災給付額は個別の事案ごとにケースバイケースで異なります。

農業経営の大規模化や法人化で、従業員を雇用する機会が増え、農業者等の事業者を取り巻く労働災害のリスクが増大しています。農家組合員の方々のため、そうしたリスクに備える「JA共済労働災害保障制度（業務災害補償保険）」が登場しま

した（平成30年1月から保障が開始されます）。
農作業事故の状況と事業者リスク
農作業中の死亡事故は、北海道内で毎年20件前後発生しています。ま

JAグループ 共栄火災 **JA共済 労働災害保障制度** **JA 組合員向け**

業務災害補償保険 保険料 **最大約57%割引**

労働災害への備えとして、**「従業員」と「事業者」を両面でサポートします!!**

例えばこんな時に保障します

従業員をお守りする保障

農作業中のあらゆる状況で事故は発生しています！

通勤のための乗用車を運転中に交通事故に遭い入院した。

トラクターが横転し従業員が亡くなった。

事業者をお守りする保障

労災事故による損害賠償が高額になることも！

従業員が農作業中に死亡し、遺族から管理者責任（使用者責任）を問われた。

■上記の内容は保障の概要をお知らせするものです。加入を三検討の際は、JA共済 労働災害保障制度（業務災害補償保険）（PE113900）のパンフレット・重要事項説明書等を必ずご確認ください。

■JA共済 労働災害保障制度（業務災害補償保険）は、全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）を集团とする集团契約で、保険契約者はJAの組合員である法人・個人事業主等の事業者およびJAとなりま。

■この制度固有の割引として最大55%割引にて算出した保険料に、さらにJA共済連が集团として保険料を集合することにより集团統一割引5%を適用することにより、一般で加入するより最大約57%割引にて加入いただけます。

■JA共済 労働災害保障制度（業務災害補償保険）は、損害保険であり、共済ではありません。

承認番号:B1727210K1566-20171106

- た、負傷事故にいたつては2000件以上発生しています。（出典…北海道農作業安全運動推進本部「平成28年度農作業事故報告書」）
- 従業員（パート等含む）が業務中に死傷した場合、政府労災はごく一部の保障に限られ、事業者は多額の損害賠償義務を負うリスクがあります。こうしたリスクに対応するため「従業員の保障」はもちろん、「事業者の保障（損害賠償への備え）」が求められています（図1）。
- 「JA共済 労働災害保障制度」のおもな特長**
- ① パートやアルバイトを含む全ての従業員、派遣社員などを包括して保障します（福利厚生の実現につながります）。
 - ② 労災事故により高額な損害賠償額を被った場合でも、政府労災保険の支給額を超える額を支払うことが可能です。
 - ③ 一般加入より最大約57%割安に加入できます（共栄火災海上保険株式会社の業務災害補償保険を活用し、JA共済連の全国制度として構築することで保険料を抑えることができました）。
- ※保険の詳細につきましては、お近くのJAまでお問い合わせください。

教えてください！「農閑期の過ごし方」あなたのポイント

趣味や事務仕事など、忙しいときにはできなかったことをする期間のようです。

農閑期はなくても、時間をつくって活動している方もいました。

*は皆さんからの投稿総数による関心度です。

趣味 ****

スキー、料理、旅行、温泉など自身の「スキ」を楽しんでいます。

■ 農閑期といえど忙しいです。女性部、グループ、夏の間でできなかった友人との集まりetc……。スケジュールは埋まっています。（石狩市・女性）

■ 酪農なので毎日の作業はあるが、空き時間に近くのスキー場へ行ってスキーやスノーボードを楽しむこともある。（湧別町・男性）

■ 夫婦でウィンタースポーツを満喫します。体力をたもったまま3月からの仕事を迎えられ、年中元気だねと言われます。その他に冬は裁縫の季節。春からの仕事で使う腕抜きを作ったりして楽しんでいます。（美瑛町・女性）

■ 女性部の仲間とチーズ・パン作りをしています。（雄武町・女性）

■ 農作業のない冬期間、地区の仲間に声をかけて自慢のお料理を持ち寄りみんなでいただき、作り方など教え合い楽しんでいます。（愛別町・女性）

■ 豆腐作り、みその仕込みに参加！今年の経営状態の把握をして、来年の計画を立てる！主人と息子に意見しています（笑）。（共和町・女性）

■ 専業農家1年目は冬の間皆どうしているのか？不思議で聞いてまわりました。今では、農協婦人部に入ったり、加工場で皆で料理を作ったりとスケジュールがすぐに埋まって忙しい暮らしです。（当麻町・女性）

営農計画・事務・税金 ****

時間のとれるこの時期に、じっくりと取り組んでいます。

■ アルバイトせず、じっくり今年の反省と来年への計画を立てています。（滝川市・男性）

■ 税金と、計画書・新たな情報収集・幅広く人脈作り・体のメンテナンス。フィットネスに通う。（小清水町・男性）

■ 基本は体を休めながら遊んでいます（スキー、映画、ボーリング等）。そして、次年度に向けてどういう営農をしているのか？作業機の修理は必要か？などなどを考えられる期間なのかな。あと今年度の反省も。（清水町・男性）

■ 前半は税金書類の整理、後半は作業着の製作など！（中富良野町・女性）

アルバイト ****

副業の期間でもあります。

■ 近くのスキー場にアルバイトに行く。気分転換になります。農繁期で子供たちに我慢をさせてきてしまったので外出する。（真狩村・男性）

■ JRの構内除雪、知り合いの農家の作業手伝い、青年部活動。（滝川市・男性）

■ 基本的には、季節雇用のバイトに行きますが、農業でご飯を食べているので農業関係の会合や会議第一にしています。あとは普段なかなか会わない同業者との情報交換、そしてそれ以外は春に向けて心と体を整えることに力を注いでいます。（名寄市・男性）

青年部・女性部・研修会 ***

地域の仲間との活動、勉強のための大切な時間です。

■ 牛や酪農に関する勉強会やセミナーへの参加と農機具展を見に行くこと。牛のため、自分のために知識をつけ自分を高める良い期間なので。（足寄町・女性）

■ 全道的に研修会、講習会があれば参加しています。夏場にできない家族とのスキンシップもするようにしています。（京極町・男性）

その他**

■ 軽種馬は生き物相手なので基本的に農閑期はありません。従業員を使っていない家では休みもありません。仕事の合間をみて時間を作り趣味も遊びも事務も行っています。（日高町・女性）

■ 酪農なので、日中2～3時間くらいしか時間はありませんが、買い物や運動しに行ったりかな。（帯広市・女性）

■ 酪農業のため、休みはないが月に1度程度はヘルパーを頼み、休日をとっている。（天塩町・男性）

■ 何もしない贅沢を味わう。（厚真町・男性）

■ 農閑期は、子どもが小さいので子どもとあそんだり、あそびにいたりしています。以前の仕事でエステをしていたので、若々しくいれるよう自分磨きをしています(*^^*)（平取町・女性）

前号の読者アンケートでは皆さんからたくさんの声が寄せられました。このページでは毎号「読者の声」として掲載いたします。

あの人のビューポイント

■あの人のVIEWPOINT 今回も感心して読ませていただきました。ゼロからのスタートで、かなり勉強されたと思います。女性部、青年部との連携も大切にされていて、子供たちへの食農教育も大事に考えられていて本当に感心いたしました。(中頓別町・女性)

特集「農業をつなぐ」

■今回は青年部や若手就農者の記事が多くうれしく思いました。私も青年部として活動内容の情報発信の機会はWEB等ではありますが、効率よく先輩の組合員に青年部の情報を受信してもらえる機会が少ないのでありがたいです。(江別市・男性)

■「若手後継者から見た親父との関係」は本音が聞けて面白かったです。ありがちな農家の親父パターンがでてきて、読みながらうずいてしまいました。後継者さんたちがみんなやる気がある人ばかりなので、ぶつかるんだなと思いました。うらやましいです。うちが女性後継者なので、今号はとても興味深かったです。(稚内市・男性)

■特集の農業後継者に関する記事は、これから就農する者にとって非常に参考になりました。本音トークの座談会形式の記事も良いです。今後もぜひ取り入れてください。また、ホクレンフィールドデーの記事は各品種の説明にそれぞれの来場者の方の音が掲載されていて画期的で興味深いです。今後もこのように興味深い誌面作りを期待しています。(足寄町・女性)

■富良野の前多さん、4年前くらいのフレミズの会でお会いして「独身なんです…」と言っていたので結婚されていてうれしいニュースでした！(上富良野町・女性)

ホクレンフィールドデー

■なにか良い作物がないものか……と模索しているので、品種の紹介もありがたいです。(中富良野町・女性)

情報 Clip

■今回の号の特集と倉庫の収納はとても生産者よりの良い記事でした！(倶知安町・女性)

読者の声

■<10-11月号の農業なんでも川柳で「元気出る疲れた時のベンチャーズ」投稿者さんへ>私は隣町の別海町でベンチャーズコピーバンドをしています。月2回の練習をしているのでベンチャーズサウンドを聴きに来ませんか？



私を除く3名はベンチャーズコピー歴50年超え。日々演奏方法の指導を受けながら頑張っています。(別海町・男性)

その他

■若者目線、後継者、大型農業などが目につく内容が多いみたいですが、高齢者だけで少ない農地で頑張っている農家も居ることを忘れないで！(中富良野町・女性)

■SNS等の、写真の投稿「今何してる」仕事・遊び・夢中になっていることなどリアルな写真投稿。みんなで作るページを期待します。(小清水町・男性)

農業なんでも川柳

日ごろの農作業や暮らしのことを川柳にして「農業なんでも川柳」にお寄せください。作品が紹介された方には粗品を進呈します。

畑でもおしやれ忘れず 60歳 (芽室町・女性)

ステキな笑顔で作業される様子が浮かんできます。(編)

父、息子 経営方法 違いすぎ (当別町・女性)

奥さんのホンネ？ですね。(編)

ブロッコリー 夢に出てくる 宇宙船 (伊達市・男性)

毎日のこととなると夢にまで出てくるんですね。(編)

古農具 故障ばかり ともにとし (平取町・男性)

農機具とともに過ごされている、時の長さを感じます。(編)

気晴らしを 考えながら 草むしる (厚真町・女性)

単調な仕事を続けるコツですね。(編)

乳を見て 牛の年齢 いち当てる (浜中町・女性)

さすがプロの視点です。(編)

サイレージ うちの番だと 雨が降る (猿払村・女性)

てるてる坊主が必要かもしれません。(編)

雨模様 昔はキライ 今はスキ (岩見沢市・女性)

今日は休みかなと、ウキウキしますね。(編)

「ご好評いただいています」「農業なんでも川柳」。どんどんご応募ください。お待ちしております。

「農業なんでも川柳」は裏表紙の応募FAX、またはインターネットでご応募できます。お気軽にお寄せください。

present

読者プレゼント 応募締め切り：2018年1月15日（月）

アンケートにお答えいただいた方に抽選でプレゼントを差し上げます。裏表紙の記入欄に必要事項をご記入の上、FAXまたはパソコン・スマートフォンでお送りください。※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



A. ローストビーフと生ハムセット（ソース付き・冷凍） ローストビーフ 300g・もも生ハム 200g …… 10名様

高タンパクでヘルシーな赤身北海道産牛肉ロースをローストビーフに、北の大地で育まれた北海道産の豚肉を生ハムに仕上げました。それぞれご家庭でお好みの厚さにスライスして、お召し上がりください。



B. 表紙コーディネート作業着

M・Lサイズ

…… 合計3名様

表紙で使用された作業着の帽子、ヤッケ、フリース、マフラーのコーディネートセットをプレゼントいたします。サイズは女性用M・Lとなります。応募用紙または応募フォームにご希望のサイズをご記入ください。



読者モニター あなたと一緒に誌面づくりにご参加ください。

アグリポーター大募集

いつもアグリポートをご愛読いただき、まことにありがとうございます！アグリポート編集部では読者モニター「アグリポーター」を募集します。



アグリポートが営農情報誌として、皆さんにもっと役に立つ情報をお届けできるように、読者の「声」を必要としています。ご協力いただくのはアグリポート誌面を読んだ感想となります。モニターとなつていただいた方には謝礼もご用意しております。皆さんのご応募をお待ちしております！

- モニター期間：1年間
- 応募方法：スマートフォン・パソコンまたは裏面にある読者アンケートのモニター応募欄にチェックをしてご応募ください。ご応募いただいた方には編集部より改めて詳細をご連絡させていただきます。

我が家の味自慢！

あなたの写真大募集

お漬物、常備菜、一品料理などあなたの家の自慢の味を写真でお寄せください。採用された方には粗品を進呈します。

●応募方法

スマートフォン・パソコンでプレゼントご応募ページにアクセスすると写真投稿欄がありますので、そこから投稿できます。



<https://jp.surveymonkey.com/r/LZ76TW7>

●編集部より

編集部では、さまざまなご意見、ご要望、厳しいご指摘も含め誌面に反映させていきたいと思ひます。ぜひ、あなたのご意見をお聞かせください。

いつもご愛読いただきありがとうございます。おかげさまで本誌は第10号の発行を迎えることができました。創刊当時は、どうなることかと不安や迷いいっぱいでしたが、最近は大変恐縮ですが「少しだけ情報誌っぽくなってきたかな？」と思えるようになりました。これは、読者アンケート（読者の声）が徐々に増えているためで、前号までの率直な感想や取り上げて欲しいテーマのリクエスト、編集部へのエールなどが寄せられ、一同とても励みになっています。これからも、一つ大切に誌面へ反映させていただきます。

そのようななか、本誌では「読者モニター」を募集することにしました。より多くの方々からご意見やご要望をいただくことで、もっと身近で役に立つ営農情報誌にしたい、そんな思いからです。いつもの裏面アンケートより少し細かい評価（チェック）や若干の記述もお願いする予定です。ぜひ、私達と一緒に誌面づくりに参加してみませんか？多くの方々の登録をお待ちしています。厳しいご指摘も大歓迎です！（M・S）

From Editor's Room 編集部より

ホクレンアグリポートVo.10
編集 ホクレン農業協同組合連合会

農業総合研究所 営農支援センター
営農支援推進課内アグリポート編集部

読者アンケートのお願い **皆さんのお役に立つ誌面づくりのために、ぜひあなたの声をお寄せください。**
※お送りいただいたご意見は「Voice 読者の皆さんからの声」コーナーに掲載させていただく他、誌面づくりに反映させていただきます。

プレゼントのご応募・ご意見はFAX かパソコン・スマートフォンで 応募締め切り：2018年1月15日（月）
※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

FAX ご応募先 011-742-9202 | **パソコン・スマートフォンご応募先**
<https://jp.surveymonkey.com/r/LZ76TW7>

ご応募は
こちらから



[プレゼント応募記入欄] 下記の内容をご記入ください。

お名前

性別：男・女 年齢 歳

ご住所

〒 -

お電話番号

ご職業

1. 生産者 2. 系統職員 3. その他 ()

ご職業で「生産者」とお答えの方の営農形態は？

※該当するもの全てに○をつけてください。

1. 稲作 2. 畑作 3. 園芸 4. 酪畜
5. その他 ()

ご希望のプレゼント ※A・Bいずれかに○印をご記入ください

A ローストビーフと生ハムセット

B 表紙コーディネート作業着 希望サイズ (M・L)

[アンケート回答書] 下記の質問にお答えください。

Q1. 誌面の中で興味深かった記事はどれですか？ ※複数回答可

- ☐ 0. 表紙
- ☐ 1. あの人のVIEW POINT
- 特集 パートさんと共に
 - ☐ 2. 働く時間とつながる環境
 - ☐ 3. 農業パートが考える「働きやすさ」
 - ☐ 4. 働く人の立場に立った環境づくり
 - ☐ 5. すぐに辞めない！パート雇用ノウハウ
- ☐ 6. ホクレンマーケット通信 道内の小麦生産と需要動向
- みんなの取り組み広場
 - ☐ 7. 農福連携事例 (JA 北ひびき)
 - ☐ 8. 農福連携事例 (JA びばい)
- 品種・技術ここがポイント！
 - ☐ 9. 大きくてよくとれる！いちご「ゆきララ」
 - ☐ 10. テンサイ西部萎黄病 (=テンサイ黄化病)の感染源について
 - ☐ 11. 堆肥の効果を発揮するために
- 情報clip
 - ☐ 12. GAP の活動推進とこれからの取り組み
 - ☐ 13. JAピンネ 水稻防除 豆つぶ剤普及への取り組み
 - ☐ 14. ホクレン訓子府実証農場レポート
 - ☐ 15. 首都圏の消費者に「網走市」の魅力をPR!
 - ☐ 16. JA共済 労働災害保障制度
- ☐ 17. Voice 読者の皆さんからの声
- ☐ 18. 農業なんでも川柳

Q2. 今号の満足度をお答えください。

非常に良い 良い 普通 悪い 非常に悪い

Q3. 今後取り上げて欲しいテーマをご記入ください。

Q4. 来春に向けて新しく始めてみたいことはありますか？
(営農・プライベートなど何でもお寄せください)

Q5. ご意見・ご感想・改善点などをご記入ください。

<農業なんでも川柳>応募欄

読者モニター「アグリポーター」に 応募します ☐

※ご応募いただいた方には編集部より改めて詳細をご連絡させていただきます。ご了承ください。

※お送りいただいたお名前、ご住所、電話番号などの個人情報は商品の発送、誌面づくりの基礎データとしての目的以外には一切使用いたしません。個人情報
は厳重に保管・管理し、漏洩、滅失、毀損の防止、その他安全管理のために必要かつ適切な措置を講ずるよう努めます。また第三者への提供・開示などは一切
いたしません。